

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月18日更新

事務事業名	少子化対策総合交付金事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2 福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	5 健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名	小畑 照美
	施策の柱	21 地域医療体制の充実	所属班	健康推進班	(内線)	1632
予算科目	会計一般	款 4 項 1 目 6 事業連番 11770	根拠法令	母子保健法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 31年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 31 ~ 5 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県が令和元年10月から実施する少子化対策総合交付金事業。結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを強化し、出生数の増加を目指す。①結婚チャレンジ補助金：婚活イベントを実施する団体に補助金を交付する(事業運営は企画課)。②一般不妊治療費助成：不妊症の夫婦に対して、不妊治療のうち保険外診療である人工授精に要する費用の一部を交付する。③早産予防対策：早産予防のため、妊婦に対する膣分泌物検査、歯周疾患検査に要する費用の一部を交付する。④市町村創意工夫事業：少子化対策に資する事業に対し交付される。※歳入のみ⑤市町村事務費：本交付金事業を実施するための事務費を交付される。
【業務の流れ】	・委託医療機関との契約事務、受診券発行事務、委託料支払事務、受診結果管理、助成事業受付支払い事務 ・補助金申請事務
【主な予算費目】	需用費(一般消耗品、印刷製本費) 役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	市独自の不妊治療への助成はないか、出会いの場が欲しいなどの意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分: 新規
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	令和元年10月から県の補助事業として実施した。①結婚チャレンジ、企画課が事業対応しているが補助金対象となる事業はなかった。②一般不妊治療費助成：令和元年10月1日から治療費助成事業を開始した(実績5件)。③早産予防対策：妊婦健診事業での膣分泌物検査(実績237件)及び歯科保健事業での妊婦歯科健診(実績130件)を少子化対策総合交付金事業として継続して実施した。④創意工夫事業については、既存の心理相談事業(実績延べ461人)を継続して実施した。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 令和元年度に引き続き、年間を通して事業を実施する
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 不妊治療費助成申請者数 イ: 膣分泌物検査、歯周病検査実施者数	予算の主な増減の理由 令和元年10月から事業実施のため半年分の事業費計上、令和2年度は1年間分の予算を計上したことによる増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市に住民票を有し不妊症と診断された人及び合志市に住民票を有する妊婦	(単位) 人 ア: 不妊治療費助成を希望する人(申請者) イ: 合志市に住民票を有する妊婦	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 合志市の出生数が増える	(単位) 人 ア: 不妊治療費助成申請者で母子手帳を交付した人 イ: 出生数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠 この事業は少子化対策として出生数の増加を図るためのものであるため、妊娠の成立、早産予防対策が不可欠である。よって、その状況を把握する必要がある。		総トータルコスト 全体計画 ~5年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	実績(決算)		31年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	人			38	5	76	76	76	76
	人			455	367	920	920	920	920
② 対象指標	人			38	5	76	76	76	76
	人			301	305	685	685	685	685
③ 成果指標	人			9	0	19	19	19	19
	人			455	367	650	650	650	650
投資入費量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円			909	4,821	5,093	5,093	5,093
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円			29,278	67,427	67,155	67,155	67,155
(A) 事業費計	千円			0	30,187	72,248	72,248	72,248	
(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	0	
正規職員従事人数	人			4	4	4	4	4	
延べ業務時間	時間			0	969	969	969	969	
(B) 人件費計	千円			0	3,840	3,860	3,860	3,860	
トータルコスト(A)+(B)	千円			0	34,027	76,108	76,108	76,108	

事務事業名	少子化対策総合交付金事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 今年度10月から新規で開始された事業内容（結婚チャレンジ・一般不妊治療）については、目標値に至っていない。また、事業の組替えにて継続実施の事業（早産予防）についても、目標達成に至っていない。広報誌やホームページでの周知を継続して実施していく。
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 若い世代の転入数の増加が見込まれるため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを強化することで、少子化対策の一助となるため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 検査は専門知識と技術を要するため委託しているが、委託料や助成額等の設定は県下統一、もしくは歯科医師会との協議で決定しており、必要経費としては最低限で計上している。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 専門的な内容は医療機関へ委託し、事務的な処理は必要最低限の職員で実施している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 助成額は県下での統一料金であり、妊婦歯科健診・膣分泌検査は無料のため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門分野は医療機関への委託、補助金の支払い事務等は行政と分担されており適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

少子化対策として結婚、妊娠、出産にいたる一連の取り組みを実施し、出会いのきっかけづくりや経済的な支援により妊娠する機会が増え、妊娠中の健康管理を行うことで正期産での出産を迎えることができるように、今後も制度の周知や啓発を行っていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>令和元年10月から事業実施のため、半年分の事業費計上だった。令和2年度は1年間分の予算を計上しているため予算額は増加している。さらに事業に関する周知を行っていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>結婚チャレンジ：コロナ禍の事業実施が難しいところもあるが、実施できるように進めていきたい。</p>																						